

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際医療福祉		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	海外
担 当 教 員	荒木 将平	実務経験とその関連資格	回復期病院、介護老人保健施設にて理学療法士として勤務。内部障害など多岐にわたる疾患を経験。実習指導者としても経験あり。			
《授業科目における学習内容》						
米国の理学療法、リハビリテーションの実践に携わる施設を訪問し、国際化社会に対応する知識を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題取り組み姿勢、課題提出などから総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
配布資料等を用いて国内外の職種や文化の違いを調べておく。						
《履修に当たっての留意点》						
携行品に不備が無いようにする。また体調管理に留意する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて日本の理学療法について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の理学療法について ①			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて日本の理学療法について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の理学療法について ②			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて日本の理学療法について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の理学療法について ③			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて日本の理学療法について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の理学療法について ④			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて日本の理学療法について調べておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の理学療法について ⑤			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外における理学療法の役割や働き方について学ぶ。	配布資料	配布資料や文献を用いて海外の理学療法について調べておく。
		各コマにおける授業予定	海外の理学療法について ①		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて海外の理学療法について調べておく。
		各コマにおける授業予定	海外の理学療法について ②		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて海外の理学療法について調べておく。
		各コマにおける授業予定	海外の理学療法について ③		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて海外の理学療法について調べておく。
		各コマにおける授業予定	海外の理学療法について ④		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	海外における理学療法の役割や働き方について説明できるようになる。	配布資料	配布資料や文献を用いて海外の理学療法について調べておく。
		各コマにおける授業予定	海外の理学療法について ⑤		
第11回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	現地の講師・学生とのコミュニケーションが図れるようになる。また国内外の文化について説明できるようになる。	配布資料	配布資料等を用いて語学学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	国際学習・国際交流 ①		
第12回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	現地の講師・学生とのコミュニケーションが図れるようになる。また国内外の文化について説明できるようになる。	配布資料	配布資料等を用いて語学学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	国際学習・国際交流 ②		
第13回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	現地の講師・学生とのコミュニケーションが図れるようになる。また国内外の文化について説明できるようになる。	配布資料	配布資料等を用いて語学学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	国際学習・国際交流 ③		
第14回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	現地の講師・学生とのコミュニケーションが図れるようになる。また国内外の文化について説明できるようになる。	配布資料	配布資料等を用いて語学学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	国際学習・国際交流 ④		
第15回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	現地の講師・学生とのコミュニケーションが図れるようになる。また国内外の文化について説明できるようになる。	配布資料	配布資料等を用いて語学学習をしておく。
		各コマにおける授業予定	国際学習・国際交流 ⑤		